

生徒・保護者向け 図書館だより

Breeze

～図書館からの風～

令和8年1月13日

Vol. 9

文責 大田二中図書館司書

明けましておめでとうございます。気持ちも新たに3学期をスタートさせたことと思います。新しい1年のスタートに目標を立て、目標を達成するための具体的な行動計画を考えてみましょう。私は誰もが過ごしやすい図書館づくりとみなさんと本との出会いの機会をたくさん作ることが目標です。今年はマナーを守りつつ、たくさん図書館を利用してください。



図書館からのお願い

**冬休みに借いた本の返却日は
1月16日(金)です**
二中図書館の本は、二中学生徒の共有財産です
延滞している本の返却を
心待ちにしている人がいます
全員の協力で、早く本を返却しましょう



図書館はみなさんが過ごしやすいスペースを目指してきました。たくさんの生徒が利用しています。現在、「歓談の場所」として利用する生徒が増えています。
図書館は本来「本と静かに向き合う場所」です。

3学期は居心地の良さはそのままに、
「本と静かに向き合う」「学びにつながる」利用を目指した働きかけをします。

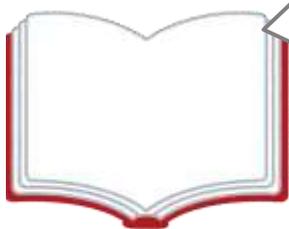


雪にまつわる本

みなさんは雪を見て、どんな気持ちになりますか？降り積もる雪を見ながら、温かい部屋で本を読む時間を持ちませんか？

雪だるまの雪子ちゃん

江國香織 著 偕成社

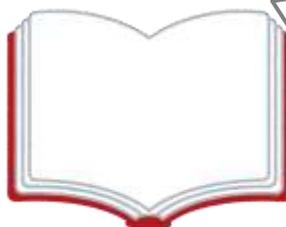


雪子ちゃんは雪だるまですから、雪でできています。でもみなさんがよくご存じの、ふつうの雪だるまとはちがいます。

大雪の日に空から降ってきた、雪だるまの雪子ちゃんは画家の百合子さんの物置小屋に住んでいる。日課は散歩と体重計測、夏の間は休眠。好奇心旺盛で、元気な雪子ちゃんの生活の様子にほっこり。

同志少女よ敵を撃て

逢坂冬馬 著 早川書房

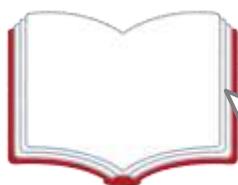


「今日、ドイツ軍に村を焼かれ…家族が死に、あの人の、ここに連れて来られました」そう言った途端、室内の空気と彼女を見る目が変わった。

モスクワ近郊の村に住むセラフィマは、ドイツ軍によって母や村人を惨殺され、復讐のため狙撃兵を志願する。同じく大切な人を殺された少女たちと訓練を重ね、女性上官の指導のもと最前線に赴く。

恋する寄生虫

三秋緋 著 KADOKAWA

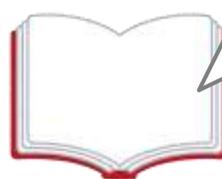


人間は頭だけで恋をするわけではない。目で恋をしたり、耳で恋をしたり、指先で恋をしたりする。それならば、僕が<虫>で恋をしたって、何もおかしくはない。

極度の潔癖症のため、人間関係を築くことができず、孤独な賢吾。あることがきっかけで、視線恐怖症のひかりの面倒をみることになる。生きにくさを感じている二人は、共に過ごすうち次第にひかれあっていくが…。

雪女 夏の日の夢

ラフカディオ・ハーン 著 岩波書店



「おまえが顔に明かりを受けて、そうやって針仕事をしているのを見ると、まだ十八だったときに会った、不思議なことを思い出すよ。」

朝の連続テレビ小説『ばけばけ』は松江が舞台。主人公はラフカディオ・ハーンとその妻セツ。セツが夫、ハーンに紹介した不思議な物語の一つ、表題『雪女』や日本の生活についての随筆が掲載されている本。

校長先生に購入していただいた本(毎月一冊・司書のセレクト本を寄贈していただいています)



夜空にひらく いとうみく 著 アリス館

高校生の円人は人を信じられず、非行に走り、補導委託制度の協力者である花火の製造所を営む深見家で暮らすことに。深見家の家族や職人たちと関わるうちに少しずつ心を開き、前向きに生きていこうとする姿を描く。